

<p>研修成果の活用レポート/NITS 大賞エントリーシート</p> <p>※研修成果の活用レポートは、NITS 大賞エントリーシートと同様式です。NITS 大賞に応募される方は、推薦者への提出とは別に、<award@ml.nits.go.jp>宛て、メールにてお送りください。なお、メール送信後、3 日以上受領メールが届かない場合はご連絡ください。</p>	<p>※事務局記入欄</p> <p>受理No. : D-46</p>
<p>【学校名・氏名】 高萩市立秋山中学校・久保田克也</p>	<p>【応募部門】 校内研修プログラム開発・実践部門</p>
<p>【修了研修名】 平成 30 年 第 1 回 次世代リーダー育成研修</p>	
<p>【活動名】 より良い生徒指導を求めて ～生徒一人一人を見守る体制づくり～</p>	
<p>解決すべき課題：※活動を行う前に、どんな課題設定をしましたか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分と関わりのないカテゴリーで起こった事案について、他人任せで済ませてしまう教師が多い。 情報を共有することが難しく、チーム対応や共通理解が不十分なことがある。 若手教師が増加し生徒指導に不安を抱えている現状があるため、研修の充実を図りたい。 生徒指導主事と担任を兼任していて、負担を軽減したい。 	
<p>目標・方針：※課題を解決するためにどんな目標や計画、戦略や方針をたてましたか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 生徒に寄り添ってくれる教師 迅速な初動と的確な初期対応 職員室での雑談を大切に 専門家の強みを活かす 	
<p>活動内容：※何を行ったか、具体的に記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 生徒指導用のデータベースの作成と活用 <ul style="list-style-type: none"> 本校 PC ネットワーク上に、生徒指導用のフォルダを作成 各種報告や気になる生徒や行動について記入する。 メイン PC, 個人 PC からいつでもアクセスできる。 生徒指導部員会や生徒指導協議会は、入力されているデータを基に、PC 上で進行する。 ペーパーレス化を図る。 全職員が生徒一人一人の先生であるという意識の高揚 <ul style="list-style-type: none"> 日頃からの関わり方の改善 昇降口や教室で生徒を迎える。(全職員) 一日に必ず一度以上声をかける。(担任, 学年担当) 	



生徒指導日誌の一部

・学校生活アンケート（年 7 回程度）
 ↓
 ・教育相談（二者・三者, チャンス, 自主来談など様々な形態で実施）
 ↓
 ○データや気になる内容は必ず記録する。(報・連・相・確・記の徹底)
 ○小さな変化やサインを見逃さない。

(3) 情報を交流したり共有したりできる場の設定
 ・校長を中心とした生徒指導体制の改善
 ↓
 ・風通しの良い職員室
 ↓
 ○事案について、いつでも、だれでも話することができる。
 ○雑談の中から生まれる新たな課題や対応策

<従来> <改善後> ⇒

○定例企画会, 生徒指導部員会 (週 1 回), 生徒指導協議会 (月 1 回) の開催

(4) 研修の充実
 ・マトリックスを活用した校内研修を実施予定
 ↓
 ○暗黙知 (経験豊富な先生の知識や実践) を形式知 (誰もが実践できる) へ

活動の成果：※それによって、どんな成果が得られましたか？

- 積極的に生徒に関わろうとする教師が増え、より良い生徒指導の礎を築くことができた。
- 大小様々な情報を共有できるようになり、生徒の良さを引き出す支援を先生方一人一人が考えるようになった。
- データベースを活用して事前に情報を確認してあるため、会議時間の短縮につながった。

アピールポイント (アイデアや工夫)：

- 既存の校内ネットワークを活用したことで、新たなシステムを構築せずに済んだ。
- 若手からベテランの教師まで、誰もが活用したり取り組んだりできるような実践になるようにした。
- 教師の心の居場所としての職員室づくり、絆づくりとなるよう努めた。